

平成 16 年 10 月 13 日

浦安市長 松崎 秀樹 殿
浦安市保健福祉部子育て家庭課 御中

浦安保育フォーラム

| | |
|-----------|---------------|
| 会長会会長 | 宇佐見 淳子（東野保育園） |
| 対市交渉分科会会長 | 秋山 裕子（富岡保育園） |
| 外部交流分科会会長 | 河津 そのみ（高洲保育園） |

拝啓

向寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は市立保育園の運営にご尽力いただき、有り難く御礼申し上げます。

さて、私ども「浦安保育フォーラム」は、市立7保育園（当代島、猫実、東野、富岡、入船、日の出、高洲）の父母会で構成され、各園での父母の会活動を中心とした意見の交換により、子供たちの保育環境の改善を進めることを目的として組織されております。

今年度も、当フォーラムでは市立7保育園を対象に共通のアンケートを実施し、全園に共通する要望や各園においての要望、保育園生活において日頃から感じられる父母の疑問を中心に要望書をまとめました。その結果、いくつかの点において早急に改善を実施していただきたい要望事項がございます。この要望書は父母の切実な声がまとめられた内容であり、市立保育園、また公設民営園の水準をさらに向上させる意味においても是非、実現していただきたいと思っております。

市のご努力により、公設民営方式で海園の街保育園、弁天保育園が開所され、今後も新たに数園が開所予定となっております。現在の待機児童解消は、一時的に解消されると思われませんが、共働きの増加や相次ぐ住宅建設に伴う住民増加のため、保育園の待機児童は今後さらに増えることが予想されます。

延長保育のさらなる拡大や保育士配置基準の見直し、男性保育士の全園配置、ぱんだルームの定員増や拠点の拡大、利用しやすい制度への見直しなどについては根強い要望があり、市の一層のご理解・ご努力に期待するものです。

つきましては、ご多忙とは存じますが、別紙の要望・質問事項について話し合いの機会を持っていただきたく、ここにお願い申し上げます。

敬具

保育フォーラム（公立七園）要望項目

1. 駐輪・駐車施設について

現在、既存公立園数園において、駐車、駐輪に関する問題が多々出ております。

入園希望の際は各家庭、居住地、勤務地などを考慮のうえ、申請を出しているかと思うのですが、現状入所できる園であればという理由で入園するケースが多く、今後も更に問題が深刻化すると思われます。

既存園においても、各父母会単位で通園に関するマナーの向上に努めておりますが、新設園については、立地（駅・バス停からの距離等）入園児の通園範囲により通園に必要な施設（駐輪・駐車スペース）を条件の中に入れていただくことを検討してください。

また、現状では徒歩、自転車で通園可能な園に入園できるとは限らないので、転園に関しては新規希望者より、徒歩、自転車通園可能な在園児の転園を優先させてください。

新規希望者を優先させている間は、卒園まで問題が解決しない＝永遠に問題が解決しないことになると思われます。

アンケート項目でも通園時間が短い事が園選択の重要な要素になっていることが、ハッキリしております。

今後新規入園者対応として、入園申請の窓口で通園の交通手段、希望園の駐輪、駐車施設などの状況を十分考慮に入れ希望園選択のガイダンスをしてください。

また、入園手続き時に園長等から駐輪、駐車についての注意を行っていただき、利用者の近隣への配慮意識を高めるよう、協力をお願いいたします。

2. 保育士配置基準について

毎年保護者の声として、保育士と園児との対数（特に3歳児クラス）の不足を多くあげの方が大変多いです。是非見直しを検討してください。2歳児の1：6が3歳児では1：20となる現在の基準はあまりにも変化が大きく、子供にも、また担当の保育士にとっても負担を強いっている状況といえます。年度初めにはフリーの保育士を配置するなどの工夫していただいておりますが、浦安市の明確な基準として具体的な数字を（年度始めから7月までの4ヶ月間は1：12など）全公立、また公設民営園、認可園にも適用していただきたい。浦安独自のよりよい基準を設定してください。

3. 男性保育士採用について

防犯対策の面からすすべての園で、正規男性職員を一人以上配置するようにしてください。時間外の臨時保育士についても、男性の採用を積極的に行うように希望します。（年配の男性も含め）子供たちに男性保育士ならではの遊びを体験させ、男性の保育へのかかわりを身近に感じさせる事はとても大切な事であると思ひます。

4. 複数担任制について

全クラスにおいて保育士と園児との対数にとらわれず、複数担任制を導入することを要請します。現在のフリー保育士制ではクラスの連絡事項が徹底されないことも多いと思われます。保育士間の連絡を密にするため、フリー保育士を担任に振分け、担任保育士がお休みの場合でも対応できるよう希望します。

5. 時間外保育士について

時間帯により保育士の人数が不足しているように感じられます。時間外保育の保育士増員と積極的な有資格保育士の募集を希望します。また時間外有資格保育士の配置を未満児、以上児にそれぞれ最低1人の配置を希望します。

6. 時間外保育について

現在、時間外の保育は午後7時までですが、仕事や勤務地の状況によりお迎えに間に合わず二重保育をせざるを得ない状況の方も多数います。このような状況を踏まえ午後8時まで時間外保育を延長することを希望します。追加保育料を負担しても、時間延長へのニーズは多いと考えられます。段階式的時間延長や一部の園で試験的に延長をするなど積極的な対応をお願いします。

7. 土曜日の保育について

土曜保育については利用者が各園毎では少ないため、平日同様保育の必要なし。とのご回答を毎年いただいておりますが、現在の保育時間の場合、仕事を休業する、また別の場所に保育の依頼をするなど、別な方法での保育を行っておられる方も多数いらっしゃいます。

土曜日の時間外保育を実施し、給食も麺類等ではなく平日と同等のものを提供して下さい。土曜日に保育が必要な父母のほとんどは、フルタイムで働いているのが実状です。この事情をご理解いただき、平日同様の時間外保育と給食を実施してください。

また、公立園でも利用者を数箇所（例えば駅に近い園）に集めるなどして、対応してください。この方法が実現すれば、日曜・祝日の保育実施も十分可能ではないでしょうか。

8. 給食、おやつ食材について

給食、おやつには、無あるいは減農薬・無添加・無着色の材料を出来る限り取り入れ、引き続き内容の充実を図ってください。食物アレルギー症状をもつ子供に対するきめ細かい対応を実施し、特に牛乳は出される機会が多いので、代替の飲料を用意してください。各園の給食施設で給食を作る現在の優れた制度を今後も継続してください。

また、今後開所予定の公設民営園についても、同様の基準を維持していただくよう、強く希望いたします。

9. おむつについて

使用済みおむつを園で一括処分をしてください。

現在、使用済みおむつは各家庭に持ち帰ることがルールになっていますが持ち帰らなくてはならない理由を明確にしてください。

また、保育室に近い場所に（特に0歳児）朝から夕方遅い時間まで使用済みオムツを保管するのは衛生上問題があると考え、この点からも園で一括処理していただく方が、衛生的であると考えます。

10. 薬の服用・塗布について

アンケートの結果において、看護師のもとでの薬の服用・塗布を希望する父母が多数います。

周辺の自治体でもすでに実施されているところもあります。最初の段階として、医師から処方された薬に限り投薬・塗布をするなどの条件の上で、投薬・塗布を検討し実施してください。

11. 病後児・病児保育等について

浦安中央病院のぱんだルームで実施されている病後児・病児保育ですが、拠点が市内に一ヶ所しかなく定員が4名と少なく、利用しにくい状況です。ぱんだルームの拠点と定員を増やし、利用条件を緩和して下さい。また、病欠欠席が長期にわたる場合、症状が安定した病児について預かれるような病児保育施設や登園中に園児の体調が悪くなった場合に利用できる、小中学校に設置されている保健室のような設備についての検討をお願いします。

また、看護師の終日配置を、今後ご検討いただくよう希望いたします。

12. 安全対策について

登園・降園時、玄関などで職員による送迎者のチェックを今後も全園で実施してください。

部外者の進入を防止するための有効な手段であると思われます。また、登園・降園時には守衛や民間の警備員を配置することも手段のひとつだと思われるので、ご検討ください。

13. 災害時の対応について

大地震等の災害が発生し、父母が職場から保育園に行けない場合など、園児にどのような対応がとられるのかなどの説明を、在園児すべての保護者に周知できる方法をご検討ください。

14. 保育料について

未満児(0～2歳児)の保育料を値下げしてください。現行の未満児の保育料は高額であり、特に未満児二人以上の家庭の負担が非常に大きい状態です。また、3歳以上児の保育料についても値上げはしないでください。民間、公務員ともに給与がダウンするという昨今の状況をふまえ検討してください。

15. 情報開示について

行政の情報開示は非常に重要だと思われます。保育施策については、広報うらやすだけでなく、保育園経由で案内文書を配布していただいたり、園の掲示板に提示していただくなど、誰もが情報を得られるようにしてください。

また、ホームページを充実させ保育園の空き状況や新規保育園が公設民営の場合は業者の選定過程など随時公表するようにしてください。

16. 新設園について

昨年までに、海園の街保育園、弁天保育園と公設民営園が2ヶ所開所し、今後の新設園も公設民営での運営が決定しております。これによって、現在の待機児童は一時的に解消されると思われませんが、大規模住宅開発が、まだまだ進んでいる状況からも今後更に待機児が増える事が予想されます。

今後の新設園予定、また運営業者選定条件などの情報を積極的に開示していただくことを希望いたします。

また、現在の民営園は勿論、今後の新設園についても、現状公営園で行っている保育レベルを維持していただくために、国の保育基準とは異なる、浦安市独自の運営基準を定め、厳格に適用してください。

アンケートにおいても、転園の条件の中に公設公営園と同様の保育レベルの維持が非常に高い回答率となっております。

また、緊急保育5ヵ年計画についても、人口増加などに伴い、今後改訂していく予定があるのか、また現状の進捗状況についてのご説明をお願いします。

17. 入園制度について

現在、年度途中の入園申請結果発表はとても遅く、産休・育児休業からの職場復帰あるいは新たに就職する場合に、職場との調整が困難な状況にあります。計画的かつスムーズな職場復帰あるいは就職を可能とするために、結果発表を前倒しして下さい。

具体案として入園申請・審査・発表手続きなどそれぞれ1ヶ月ずつの前倒しを希望します。

また、同様の理由から、育児休業の際必要な復職証明書などの提出書類は状況に応じて、入園決定後提出を可能にしてください。入園が決定しないと、復職時期が確定出来ない場合があり、入園決定を待っていると、決定している復職時期までに民間園の手配すら間に合わない状況もあります。

兄弟で同じ園に入園できない場合、保護者にとっても負担がかかります。同じ園に入園希望の場合はより一層、優先するよう配慮をしてください。

また、保育園入園審査の優先順位の中に転園者の条件（勤務地、住所、兄弟など）によっては優先権をつけていただけるよう、ご検討ください。

18. 集団検診等の土・日曜日実施について

保育園を利用している父母の多くは平日に勤務をしています。集団検診（1歳6ヶ月、3歳）を土・日曜日に実施して下さい。

また現在集団接種のポリオの個別撮取での対応を考えてください。（現在有料での民間医院での個別撮取は実施されているので、是非公費負担で、個別対応できるようにしてください。）

19. 地域交流について

安全面などにおいて、諸配慮事項も増えるとは思いますが、今後もより多く保育園周辺の小学校・中学校・高等学校の児童、生徒やシルバーの方々を保育園にボランティアとして招き、異なる年代と交流する機会を設けて下さい。この交流は、双方にとって豊かな経験を与えることになると思います。是非、検討をお願いします。